

CSL 北九州黒崎 SC 開所
北九州 SC と合わせ 1 年後に 1300 人体制

【北九州】サポートサービス専門の富士通コミュニケーションサービス（CSL、東京都品川区、南昌宏社長）は 7 日、北九州市の JR 黒崎駅前に開設した「北九州黒崎サポートセンター（SC）」の開所式を行った。南社長をはじめ、北橋健治北九州市長ら約 50 人が出席し、同 SC の開設を祝った。

7 月 28 日の発表以降、地元で採用活動を開始し、7 日時点で 170 人を新規採用。現在、北九州 SC（北九州市小倉北区）や東京で研修を受けているという。北九州黒崎 SC は、10 月末までに 250 人、10 年 9 月末までに 350 人体制にする方針。00 年から稼働している北九州 SC と合わせて、1 年後には 1300 人体制にし「当社従業員（3300 人）の 3 分の 1 が北九州にいることになる」（南社長）という。

開所式で、南社長は「北九州はビジネス上、大切な拠点になる。北九州のため、当社のため、このサポートセンターを成功させたい」と抱負を語った。北九州黒崎 SC は、JR 黒崎駅に隣接する商業ビル、クロサキメイト（北九州市八幡西区黒崎 1-1-1）内の 6,7 階に立地。2 フロアで 1878 平方メートルを確保し、主に大手通信プロバイダのサポート業務を行う。既に 1 日から一部の業務を開始している。

「働きやすい環境作り」（南社長）をコンセプトにしている同社の SC は、リフレッシュルームの充実に注力。北九州黒崎 SC は、商業施設内に入居しているため、同社 SC として初めて冷蔵ロッカーを設置。災害対策として、全従業員分の非常グッズも備えている。

電波新聞社のご了承をいただいております。記事を全文掲載しております。